

年 頭 御 挨拶

2025 年 1 月 吉日
阿比野建設株式会社
取締役社長 信國 貴之

新年明けましておめでとうございます。

皆様のおかげを持ちまして、今年も無事に新しい年を迎えることが出来ました。心より感謝申し上げます。

昨年は、パリオリンピックや大谷翔平の 50-50 など、スポーツでは明るい話題が多かった年となりました。反面、雇用確保・労働環境改善の取組みが重視され、多くの大企業が賃金の引上げを実施する中、我々中小企業においても、なんとか原資を確保して、少しでも追随することを初めた年でした。更に物価高騰も続き、『失われた 30 年』という時代に慣れた私たちも、考えを改めていかなければいけないように感じた 2024 年となりました。建設業界においても、引き続き人手不足や資材の高騰が顕著に影響を及ぼしています。弊社のお客様においても、建設凍結などのご判断をされ、計画が大きく変わった事例もございました。

そのような環境の中、弊社では昨年、中期ビジョン「2030 年に向けて・阿比野建設の向かう姿—ABINO VISION」を策定しました。大切な 2 年目となる 2025 年は、「業務改革」だけでなく「意識改革」にも取り組みながら、今のご時世だからこそ得られるチャンスを見出し、経営理念である「誠実を第一義に」「積極的な事業展開」を実現するため、アビノグループ一体となって邁進していく所存です。

ABINO VISION

— 2030年に向けて 阿比野建設の向かう姿—

1

安全活動と健康経営を推進し、
労働災害、交通災害“0”を達成しよう

2

労働力減少の課題を常に意識し、
社員一人一人がやる気をもって活躍できる組織を作ろう

3

刻々と変化する外部環境に順応すべく、社内改革を進め、
各事業部がオンリーワン技術を磨き、売上総利益の増大を目指す

安全面において 2024 年は全社で休業災害 2 件、不休・軽処置災害が合わせて 2 件、交通事故は 5 件と大変憂慮すべき年でした。特に弊社の社員自身が災害に遭った 2 件（重機災害、貫い事故ではありますが古川バイパスでの交通事故）では、一步違っておれば、重大災害になっていたかと思うと、これほど恐ろしいことはありません。本年は、安全衛生活動を改めてスタートする体制を構築して参ります。気も新たに安全衛生活動を愚直に行い、労働災害・交通災害ゼロの必達を全社員で宜しくお願い致します。

営業面では、瀬戸内製鉄所様のプロジェクト関連の様々な仕事をベースに、お陰様で堅調に推移しております。併せて建築事業部、環境事業部、九州支店においても、受注目標をなんとかクリアしています。本年は計画案件受注に向けての課題を解決するため、部署横断的に取組みを進めながら、アビノグループ一体となり、受注に繋げていきたいと考えております。宜しくお願い致します。

最後となりますが、「ABINO VISION」を基にして、改善を具体的に進めて参ります。近い将来に、「ひとつひとつ課題の解決・改善を進めておいて良かった」となることを、大いに期待して、社員皆様と進めて参りましょう。

今年もご一緒に素晴らしい年を作りたいと思います。ご安全に！

以上